

道の駅設置検討協議会 第1回会議要旨

- 1 日 時 平成27年8月31日（月）午後3時00分～午後4時30分
- 2 場 所 前橋市役所 11階 北会議室
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 オブザーバー 別紙のとおり
- 5 開 会

（藤井政策部長）

本日、進行を務めさせていただきます、政策部長の藤井と申します。どうぞよろしくお願ひします。

初めに、本協議会の委員委嘱状を机の上に置かせて頂いておりますので、ご確認をお願い致します。

続いて、本日配布しました資料の確認をさせていただきます。

－資料確認－

それでは、本協議会の開催にあたり山本市長からご挨拶を申し上げます。

（山本市長）

本日、第一回の道の駅設置検討協議会の開催にあたり、ご参会の皆様は委員の委嘱をお願いしたところ快くお受け頂き、心から感謝申し上げます。

この新たな道の駅は前橋市の夢をぎゅっと凝縮したものになると思います。委員の皆様一人一人が想う夢をこの道の駅に詰め込む為、忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。

どうぞ、前橋の夢を育てて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

（藤井政策部長）

本日は第一回目の会議となりますので自己紹介をお願いしたいと思ひます。

－自己紹介－

（藤井政策部長）

続きまして、次第4議事（1）「設置要綱について」、その概要を事務局から説明させていただきます。

（下坪道の駅推進室長）

－設置要綱概要説明－

(山本市長)

大変申し訳ありませんが公務によりここで退席させていただきます。
この道の駅に皆様の夢を詰め込むことを何卒よろしくお願い致します。

—市長退席—

(藤井政策部長)

続きまして、(2)「会長、副会長の選出について」に移らせて頂きたいと思います。
先ほどの要綱第5条1項により協議会の会長及び副会長は委員の互選により定めるものとしておりますが、ご意見がございましたらお願い致します。

(藤野委員)

事務局に一任することとしたいと思います。

(藤井政策部長)

事務局に一任するとのご意見がありましたので、事務局としては、会長に商工会議所の都丸委員、副会長にJ A前橋市の小暮委員を推薦しますがいかがでしょうか。

—一同拍手をもって承認—

(藤井政策部長)

ご承認頂きましたので、会長を都丸委員、副会長を小暮委員にお願いしたいと思います。
恐れ入りますが、指定の席へ移動をお願いします。

—会長、副会長移動—

(藤井政策部長)

それでは、会長様、副会長様からご挨拶をお願いします。

—会長、副会長挨拶—

(藤井政策部長)

ありがとうございました。続きまして、(3)「道の駅の設置検討について」へ移らせて頂きたいと思いますが、ここからの進行については、設置要綱第6条第1項により都丸会長にお願いしたいと思います。

(都丸会長)

それでは、私のほうで議事を進めさせて頂きたいと思います。次第に従って「道の駅の設置検討について」ですが、まず、事務局より説明をお願いします。

(下坪道の駅推進室長)

—資料説明—

- ・資料2 道の駅設置検討協議会について
- ・資料3 「道の駅」設置検討の概要
- ・資料4 導入機能（案）整理表
- ・資料5 整備運営手法整理表

（都丸会長）

それでは、今の説明について、質問等を受けた後、道の駅に対する意見交換を行いたいと思います。

（青木委員）

出入りは道の駅にとって一番重要であると思いますが、今回の計画については完全な平面交差となるのでしょうか。

（谷内田政策推進課長）

上武道路全体が盛土となるため、交差点付近においても盛土となりますが、交差自体は平面で行う計画です。

（角田勉委員）

道の駅の候補地について、平成26年度までに決まったことという位置付けだから、これは変更できないのでしょうか。

また、資料をいただいてから、現場に立ちましたが、すごく一生懸命田んぼをつくっていました。なんでそこなのかというのが素直な印象でした。また、この場所はどのように選定したのでしょうか。

（谷内田政策推進課長）

候補地について、規模は決まっていますが、位置は「関根町上り線」に決まっております。

選定理由は、先ほど説明した平面交差であるとか、拡張の可能性があるとか、そういったことを昨年度の懇談会から意見をいただいて、決めさせていただきました。場所について、今回の協議会で検討することは考えておりません。

今回の協議会では、場所とコンセプトが決まっている前提で、導入機能とイメージを今年度中に検討していただいて、来年度に、導入施設を具体的に検討していきたいと考えております。

（植木委員）

候補地についての関連ですが、資料図面に示されている破線の範囲でおおよそどのくらいの面積でしょうか。

（谷内田政策推進課長）

破線で示される楕円において南北に通る道路より東側の範囲でおおよそ3.5haです。しかし、図面に示される楕円はあくまで参考であり、繰り返しになりますが規模や形状については今後決めていくことになります。

(植木委員)

最大どの位の面積が可能でしょうか。

(谷内田政策推進課長)

国道17号より東側の範囲で約15ha程となります。

(植木委員)

出入りは荒牧関根線との交差点のところになるのでしょうか。

(谷内田政策推進課長)

出入りは上武道路と荒牧関根線の交差点に加え上武道路北側側道からの進入と四ツ塚原之郷前橋線からのアクセスも検討する予定です。

(関根委員)

資料4の「導入機能整理表」についてですが、市の内部提案による資料であるとのことですが、主な利用者についての考え方で、観光客や観光バスという分類がありませんが、これは、60歳以上を意味するプラチナエイジという分類に含むということでしょうか。

(谷内田政策推進課長)

この資料については、市役所各部から制限をかけない自由な提案募集を行った集計資料に想定される主な利用者を付け加えたものであります。分類については明確な取り決めをもって行っていないため、曖昧な部分もございますが、観光客についてはプラチナエイジ等に含まれるものとさせていただいております。なお、この資料についてはあくまで参考であり、この中から、導入機能、導入施設を決定するというものではございませんのでご了承ください。

(都丸会長)

資料2の「道の駅設置検討協議会について」の組織図を見ますと、副市長を委員長とする道の駅設置推進委員会が最終的な道の駅の導入機能、導入施設、整備・運営手法を取りまとめ決定するという位置にあり、我々道の駅設置検討協議会はこの委員会に対して助言をしたり意見を出したりする機関であります。今回、多分野の方々25名が参加して本協議会が発足しております。我々も、この道の駅に対して各方面から自由に意見を出し、それを推進委員会で検討するということがよいですか。

(谷内田政策推進課長)

協議会の皆様には自由にご意見を出して頂き、それを推進委員会で検討を行い市としての方針を決定するような形をとりたいと思います。

(都丸会長)

今後のスケジュールをみると第2回の協議会において導入機能に係る複数案の検討とあります。各委員が自由に意見を出すために、事務局は次回協議会開催前にたたき台を事前配布し、当日はそれをもとに意見交換を行うような形をとって頂きたいと思います。

意見の出し方や協議会の進め方について委員の皆様からもご意見がありましたらお願い

します。

(藤野委員)

道の駅の位置について今回の資料で平面的にはわかりますが、周辺の景観等がわかるものはありません。イメージ作りにも是非必要と思いますので、そういった資料を用意して頂きたいと思います。

(谷内田政策推進課長)

次回協議会については、周辺景観の資料を含め事前に送付させて頂きたいと思います。また、委員の皆様からも事前に意見提出をしていただき、当日はそれをもとに意見交換をさせて頂くような段取りを行いたいと思います。

(中島委員)

検討を行うにあたって規模をどのくらいにするかが必要ですが、道の駅に必要とされる休憩機能、情報発信機能、地域連携機能についてはすでにどのくらいの面積になるかの想定はあるのですか。また、現在全国で多くの道の駅がありますが、前橋のこの道の駅は特別な構想を持っているのですか。

(谷内田政策推進課長)

現時点では規模について具体的に決まっておりませんが、今後導入機能を検討する中で、想定される面積規模を示していきたいと考えています。

また、道の駅の構想についてですが、前橋市としては「日本一の道の駅」を目指していきたいと思っています。しかし、この「日本一」という事については来場者数や売上げなど色々なものがござります。まだ、この道の駅については場所とコンセプトしか決まっておきませんので、どの様な「日本一」を目指すかについては皆様と一緒に考えて行きたいと思っています。

(中村委員)

整備コンセプトに「防災・復旧の拠点の場」とありますが、これは前橋市としての拠点なののでしょうか。または県や国の拠点として考えているのでしょうか。これは規模にも影響することではありますが、全国的な防災拠点とする場合、ある程度の面積が必要になると思います。

また、この道の駅は吉岡町の道の駅と非常に近いところにあります。そういった、近接道の駅と連携することにより、お互いの機能を補うような仕組みについても考えるべきだと思います。

(谷内田政策推進課長)

具体的な防災機能については規模も含めてまだ、決めておりません。この場所でどんなことが出来るかを検討する中で、決めていきたいと思っております。

また、吉岡町の道の駅との連携については我々も行いたいと思っており、既に打合せも行っていますが、具体的な方法は決まっておきません。今後も継続的に打合せを行い連携手法について検討したいと思っております。

(湯川委員)

本日、東京から来ていますが、この道の駅について検討するにあたり、主要地からの位置関係が分からないので、駅や高速道路 I C、主要施設等からの距離や移動時間がわかるような資料をお願いします。

(谷内田政策推進課長)

次回協議会開催前に送付するようにさせて頂きたいと思います。

(小林委員)

整備運営手法についてですが、どのような過程で決定する予定ですか。

(谷内田政策推進課長)

本日の説明では一般的な公共施設整備の整備運営手法の方式についてご説明させて頂きましたが、今後、導入する機能に応じて整備運営手法を整理し、皆様の意見を聞きながら最終的な決定をしていきたいと考えています。

(都丸会長)

今回は第一回目から活発に意見を出して頂きありがとうございました。

この道の駅は基本コンセプトは決まっておりますが、これから実際にここで何をやるかを決めて行かなければなりません。この道の駅にどのような夢を詰め込めるかを考えることがこの協議会の目的かと思えます。是非、委員の皆様は次回の協議会に向けて事前にご意見を出して頂きしたいと思います。

それではその他ご意見が無ければ、意見交換を終了し、議事を事務局に戻させて頂きます。

(藤井政策部長)

都丸会長様ありがとうございました。

ここで、事務局から事務連絡をさせて頂きます。

(下坪道の駅推進室長)

次回協議会につきましては11月頃を予定しております。日にちが決まりましたらお知らせさせて頂きます。また、先ほどから話がありますとおり、事前に資料を送付させて頂きますとともに、意見提出をしていただき、それを集計したものをもとに次回の協議会にて意見交換をさせて頂きたいと考えています。

また、本日の会議内容については皆様にご確認頂いた後、公表したいと考えております。よろしく願い致します。

(藤井政策部長)

以上をもちまして道の駅設置検討協議会第一回会議を終了させて頂きたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

—閉会—